

心に残る文化財子ども塾 松江市立川津小学校

1. 活動の概要

7月14日（月）、松江市立川津小学校で、6年生3クラス計107人を対象として『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。

はじめに奈良時代がどんな時代であるのかを復習した後、川津小学校周辺の遺跡の分布や、奈良時代の川津小学校周辺の様子を紹介しました。学校周辺にはたくさんの遺跡があり、身近な場所にも長い歴史があることを感じてもらいました。次に遺跡から出土した奈良時代の土器（須恵器）に触れてもらいました。「けっこうしっかりしてる」、「軽い」など感想を話しながら、興味深そうに触れていました。

次に、奈良時代や大仏が作られるに至った背景や当時の作り方について説明し、大仏パネルを組み立てました。組みあがると児童たちは嬉しそうに拍手をし、実物大の大仏の大きさを実感していました。そのあと、大仏パネルの上で各々好きなポーズをとって記念撮影をしました。

2. 活動の様子



3. 活動を終えて

1) 児童の皆さんから

- ・大仏パネルを組み立てたことが心に残り、大きさを実感できた
- ・大仏が想像以上に大きかったことに驚いた
- ・大仏が大きかったけど、みんなと協力してできたこと
- ・土器がざらざらしていたので高級な食器だったとは思いませんでした
- ・食器を土の中から見つけ出して、バラバラだったものを修復するということに驚いた
- ・本物の土器を見たり触ったりしたことがわくわくした
- ・川津小学校の近くにも遺跡がたくさんあることがわかって驚いた
- ・奈良時代のことがいろいろ知れたので、もっともっと知りたいと思った
- ・学校では学べないことを知れてよかった

2) 担任の先生から

- ・子ども達が住んでいる遺跡について知ることができてよかった。
- ・大仏パネルづくりをすることによって、実際の大きさのイメージがもててよかった。
- ・大仏クイズ（プリント）の中の選択肢と教科書の記述が微妙に違っていて、こどもが混乱していた。教科書に合せてあるとよい。

3) 古代出雲歴史博物館から

- ・土器の触った感想や質問など積極的な発言が多く、充実した時間でした。
- ・大仏パネル作成の際には、各クラスともお互い声を掛け合いながら協力して取り組んでいました。
- ・片付けも協力してもらい、スムーズに行うことができました。
- ・体験をした児童の皆さんが、今後奈良の大仏を実際に見学することがあれば、今回の子ども塾のことを思い出してくれると嬉しいです。